平成 26 年度 食品検査状況



1 残留農薬

平成26年度は野菜や果実等の農産物118検体(国産品100、輸入品18)について延べ11,820農薬の残留農薬検査を行いました。検査の結果、118検体中50検体(検出率42.4%)から延べ118農薬が検出されましたが、食品衛生法に定められている残留基準を超えたものはありませんでした。検出した農薬のほとんどは基準値の1/10から1/100の低い値でしたが、今後も継続して監視する必要があると考えます。

残留農薬検査結果の概要

777 PH (\$C) 174 TH (<u> </u>					
	国内産		輸入品		全体	
	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数	検体数	検査項目数
野菜	50	6000	4	480	54	6480
果実	20	2400	14	1680	34	4080
玄米	10	1200	_	_	10	1200
畜肉	20	60	_	_	20	60
合計	100	9660	18	2160	118	11820
農薬検出数	35	78	15	40	50	118
検出率(%)	35.0	0.8	83.3	1.9	42.4	1.0
残留基準超過数	0	0	0	0	0	0

2 放射性物質検査

平成26年度は流通品の一般食品、乳児用食品、牛乳、飲用水の200検体、および野生の山菜ときのこの71 検体について放射性物質(放射性セシウム)の検査を行いました。その結果、流通品については200検体中8検 体から放射性セシウムが検出されましたが、食品衛生法に定められた基準値を超えたものはありませんでした。 野生山菜(4~6月実施)については、55検体中9検体から、また、野生きのこ(9~10月実施)については、16 検体中6体から放射性セシウムが検出されましたが、基準値を超えたものはありませんでした。

流通品放射性物質検査結果の概要

	一般食品	清涼飲料水	乳児用食品	牛乳	飲用水
検体数	169	7	2	15	7
検出数	1	4	0	3	0
検出率(%)	0.6	57.1	0.0	20.0	0.0
基準超過検体数	0	0	0	0	0
基準値(Bq/kg)	100		50		10

野生山菜・きのこの放射性物質 検査結果の概要

	山菜	きのこ		
検体数	55	16		
検出数	9	6		
検出率 (%)	16.4	37.5		
基準超過検体数	0	0		
基準値(Bq/kg)	100			

3 動物用医薬品

平成26度は、県内産魚介類(3検体)、 県内産鶏卵(9検体)、魚介類(国内 産2体、輸入1体)肉類(牛肉1体、豚 肉2検体、鶏肉3体)について延べ972 項目の動物用医薬品の検査を実施し ましたが、すべて不検出でした。





動物用医薬品の検査結果

WINTERNAM DETAIN					
品名		検体数	検査項目数	検査結果	
県内産	魚介類	3	141	٦	
朱内庄	鶏卵	9	414		
国内産 魚介類		2	94		
輸入	魚介類	1	47	▶ 不検出	
	牛肉	1	46		
	豚肉	2	92		
	鶏肉	3	138	٦	
合計		21	972		

4 食品添加物

平成 26 年度は、保存料 18 体、酸化防止剤 7 検体、着色料 8 検体、甘味料 10 検体について、検査を行いました。その結果、食品衛生法で定める使用基準に違反する食品が保存料で 1 検体ありました。酸化防止剤、着色料、甘味料では使用基準、表示基準に違反した食品はありませんでした。

食品添加物検査の概要

KHWW IN IN IN THE COLUMN TO TH				
種類	検体数	検査項目	検査結果	
保存料	18	安息香酸、ソルビン酸、 パラオキシ安息香酸エステル類	使用基準違反 1 検体	
酸化防止剤	7	tert-ブチルヒドロキノン] /######	
着色料 8		食用赤色2,3,40,102,104,105,106号 黄色4,5号、緑色3号、青色1,2号	→ 使用基準及 ・ び表示基準 ・ 違反なし	
甘味料	10	サイクラミン 酸		
 合計	43			



5 遺伝子組換え食品

平成 26 年度は、とうもろこし加工食品(6 検体)を対象に検査を行いました。その結果、とうもろこし加工 食品では未審査組換え体 Bt10 が検出された食品はなく、表示が適正に行われていることが確認されました。

遺伝子組換食品(とうもろこし加工品)の検査結果

**************************************	HH _ /	しょう 一部/ が 八五 相 水	
品名	検体数	検査項目	結果
コーン缶詰	6	未審査組換え体Bt10定性検査	不検出
合計	6		





6 アレルギー物質

平成 26 年度は、「そば」混入のおそれのある小麦粉食品 15 検体及び「小麦」混入のおそれのある米粉食品 5 検体(いずれも県内製造)の計 20 検体について、キットによる定性試験を実施しました。その結果、そば、小麦とも陽性反応を示す検体はなく、表示違反の食品はありませんでした。

アレルギー物質の検査結果

品名	検体数	そば陽性	小麦陽性	備考
中華めん	6	0	-	
うどん	6	0	-	
そうめん	2	0	-	
ひやむぎ	1	0	-	
小麦粉食品計	15	0	-	
米粉	1	-	0	
米粉麺	1	-	0	
菓子	3	-	0	
米粉食品計	5	_	0	
総計	20	0	0	





